

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 5月 12日

福島市長

提出者

住所 福島市笹谷字町尻1-3
八巻重機工業株式会社
氏名 代表取締役 八巻行夫

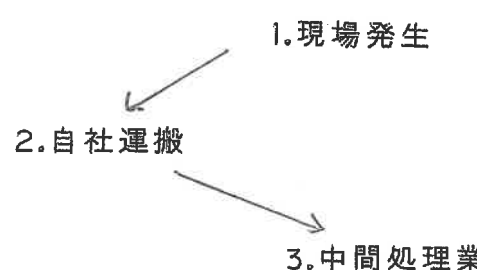
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 024-558-5566

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	八巻重機工業株式会社
事業場の所在地	福島市笹谷字町尻1-3
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

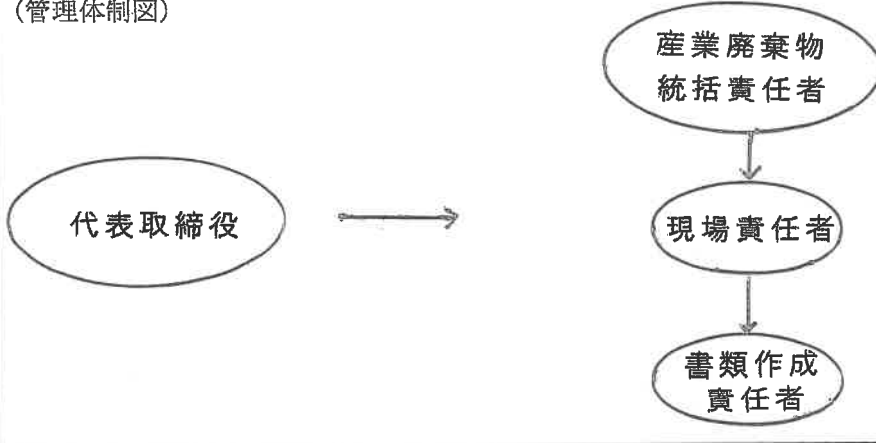
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	とび・土工工事
② 事業の規模	
③ 従業員数	16人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre>graph TD; A[1.現場発生] --> B[2.自社運搬]; B --> C[3.中間処理業者へ委託];</pre>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工事施工により発生した がれき類は全て中間処理場に搬入し リサイクルを行った。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 工事受注により廃棄物が発生した場合 がれき類は全てリサイクル処理を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、廃プラ、がれきは 分別収集を行いリサイクルを行った。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年同様に廃棄物は分別収集を行い リサイクルに取り組むようにする。

(第2面)

②産業廃棄物の種類【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	瓦
排出量	19.65 t
産業廃棄物の種類	大谷石
排出量	28.42 t
産業廃棄物の種類	木屑
排出量	304.2 t
産業廃棄物の種類	がれき
排出量	21.54 t
産業廃棄物の種類	コンクリート
排出量	644.1 t
産業廃棄物の種類	アスファルト
排出量	19.5 t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック
排出量	29.76 t
産業廃棄物の種類	ボード
排出量	47 t
産業廃棄物の種類	陶磁器くず
排出量	24.51 t
産業廃棄物の種類	繊維くず
排出量	32.21 t
産業廃棄物の種類	石綿害有
排出量	0.74 t

(第2面)

②産業廃棄物の種類【前年度（令和4年度）目標】

産業廃棄物の種類	瓦
排出量	18 t
産業廃棄物の種類	大谷石
排出量	25 t
産業廃棄物の種類	木屑
排出量	300 t
産業廃棄物の種類	がれき
排出量	20 t
産業廃棄物の種類	コンクリート
排出量	500 t
産業廃棄物の種類	アスファルト
排出量	15 t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック
排出量	25 t
産業廃棄物の種類	ボード
排出量	40 t
産業廃棄物の種類	陶磁器くず
排出量	20 t
産業廃棄物の種類	繊維くず
排出量	25 t
産業廃棄物の種類	石綿害有
排出量	0.3 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、 産業廃棄物を委託できる業者を選定し 書類による契約を実施している		

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 瓦)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
②

排出量
① 19.65

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した量
④

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

④のうち熱回収を行った量
⑤

④のうち熱回収により減量した量
⑦

②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭

⑧のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 19.65

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

自ら中間処理した後の再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 19.65

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 19.65

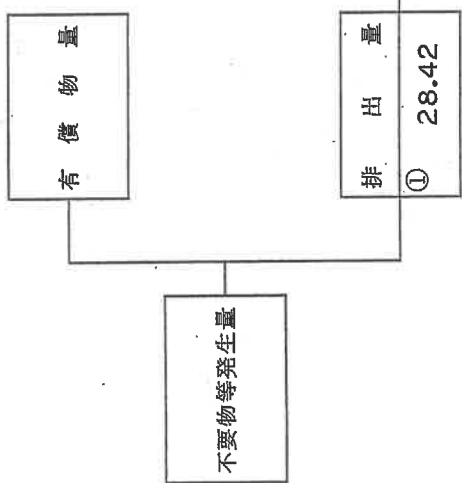
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

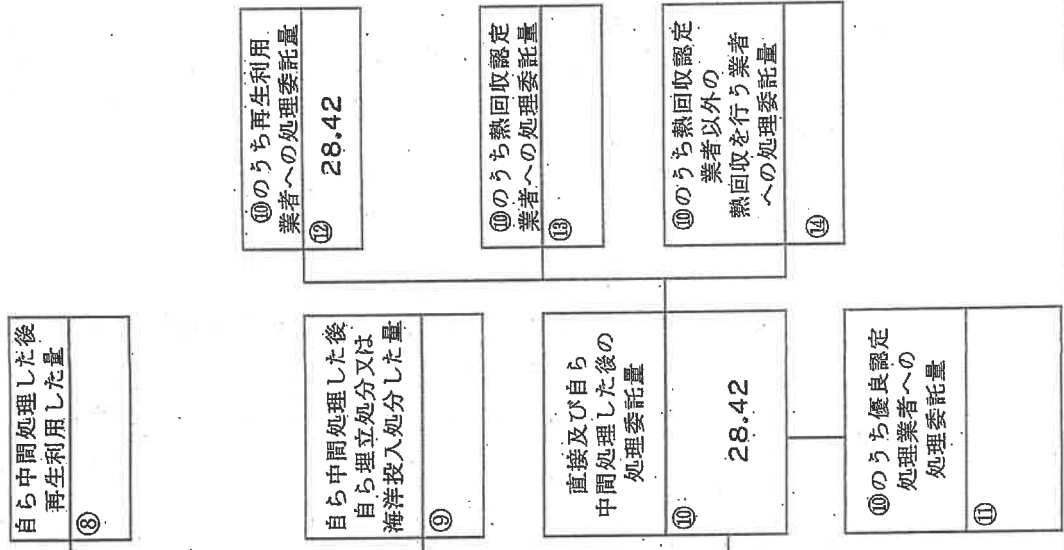
項目	実績値
①排出量	19.65
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	19.65
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	19.65
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 大谷石)

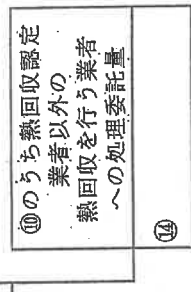
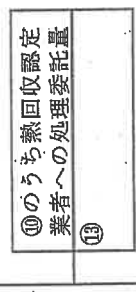
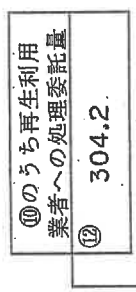
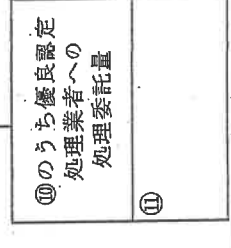
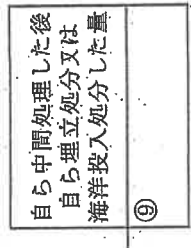
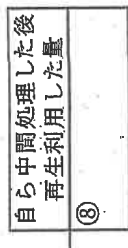
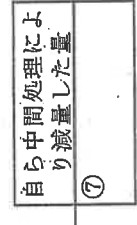
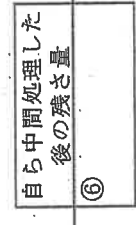
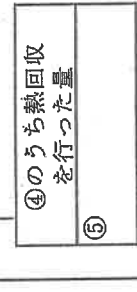
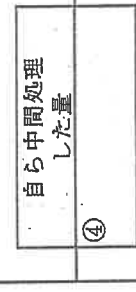
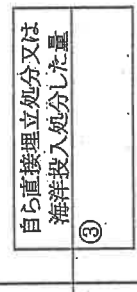
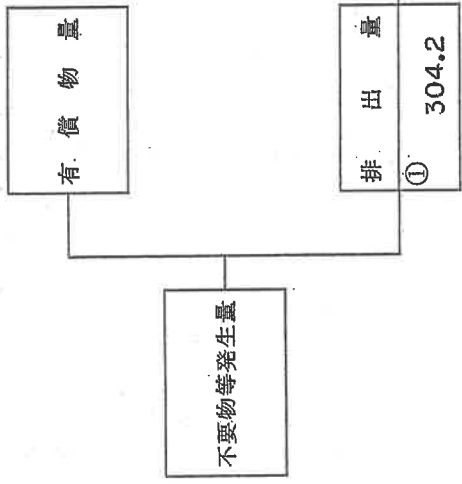


項目	実績値
①排出量	28.42
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	28.42
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	28.42
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0



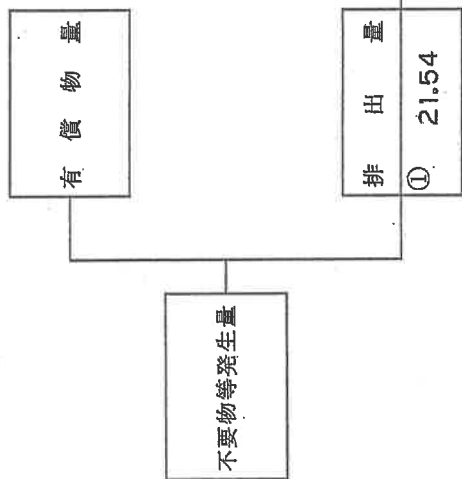
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木屑)

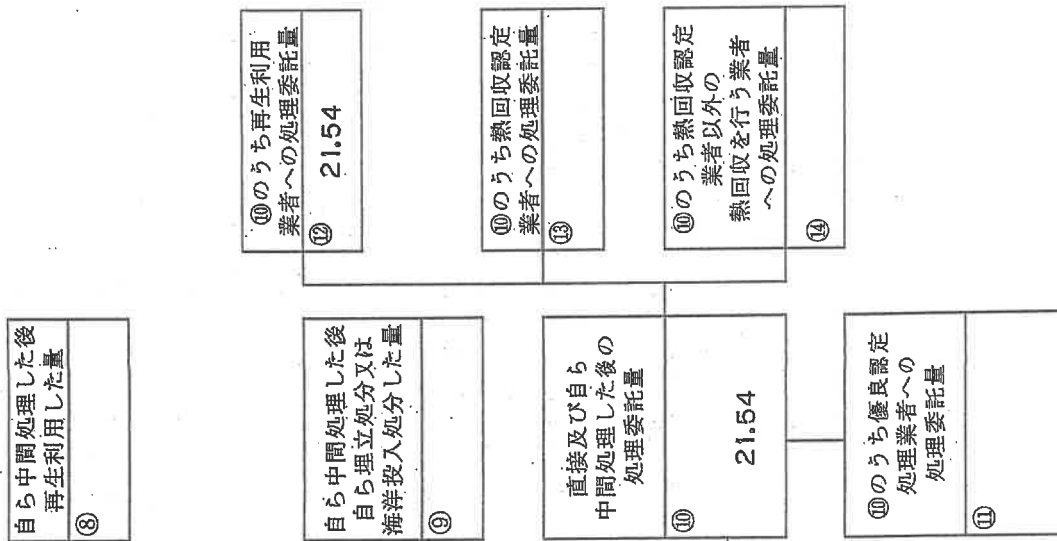


項目	実績値
①排出量	304.2
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	304.2
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0
⑩再生利用業者への処理委託量	304.2
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき)



項目	実績値
①排出量	21.54
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	21.54
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	21.54
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



⑩のうち再生利用業者への処理委託量
21.54

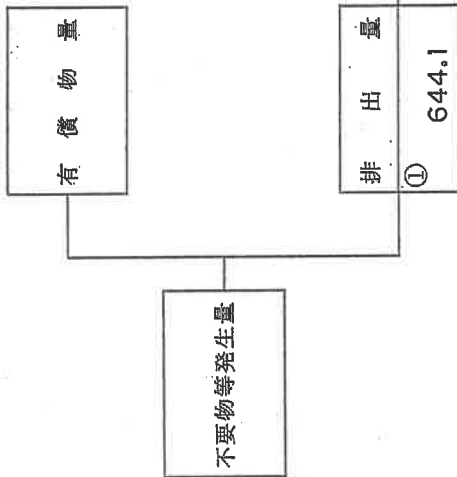
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
21.54

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
21.54

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
21.54

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート)



項目	実績値
①排出量	644.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	644.1
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	644.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後の再生利用した量
⑧

自ら直接再生利用した量
②

排出量
① 644.1

自ら直接立処分又は海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後の残存量
⑥

自ら中間処理した量
④

実績値
644.1

自ら中間処理した後の自ら立処分又は海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理による減量した量
⑦

④のうち熱回収を行った量
⑤

0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩

644.1

0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫

644.1

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

① 排出量 29.76

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量 29.76

項目	実績値
①排出量	29.76
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	29.76
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	29.76
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 29.76

⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ボード)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
②

自ら中間処理した後再生利用した量
③

排出量
① 47

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 47

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理した量
④

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

自ら中間処理により減量した量
⑦

④のうち熱回収を行った量
⑤

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

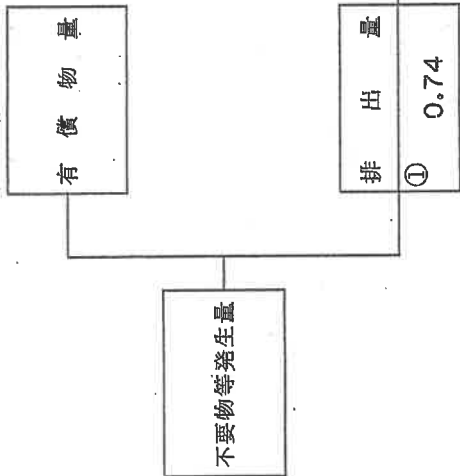
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 47

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

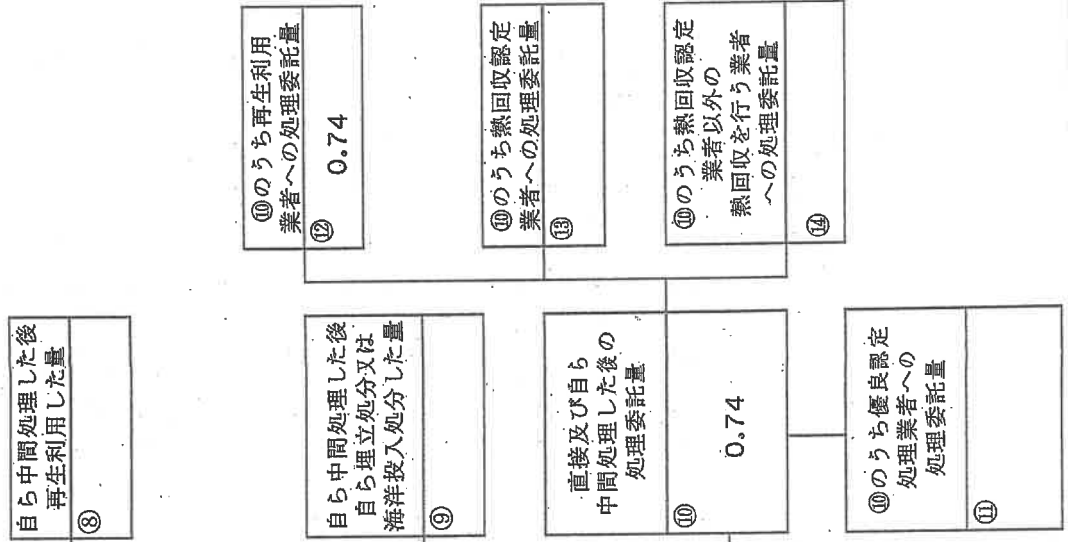
項目	実績値
①排出量	47
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	47
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

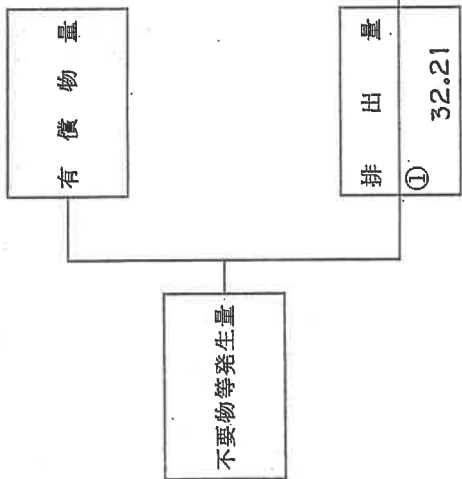
(産業廃棄物の種類：石綿書有)



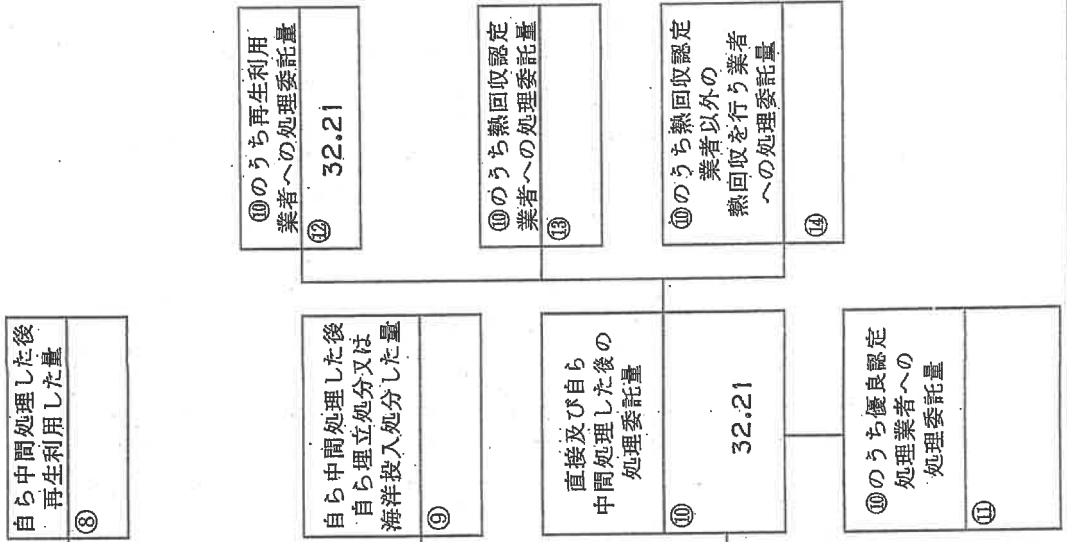
項目	実績値
①排出量	0.74
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.74
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.74
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 繊維くず)



項目	実績値
①排出量	32.21
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	32.21
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	32.21
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
<p>産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書類による契約を実施する。</p>		
※事務処理欄		

(第5面)

①
計
画

【 目標 】

業廃棄物の種	瓦	大谷石	木屑	がれき	コンクリート
全処理委託量	18t	25t	300t	20t	500t
再生利用業者 への処理委託量	18t	25t	300t	20t	500t

業廃棄物の種	アスファルト	廃プラスチック	ボード	陶磁器くず	繊維くず
全処理委託量	15t	25t	40t	20 t	25 t
再生利用業者 への処理委託量	15t	25t	40t	20 t	25 t

業廃棄物の種	石綿害有
全処理委託量	0.3t
再生利用業者 への処理委託量	0.3t

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。